

環境目的・目標達成状況評価表

作成年月日：平成18年7月25日

環境管理責任者	ISO事務局長
	

環境目的達成状況			環境目標達成状況			
環境目的	進捗状況	評価	No.	環境目標	進捗状況	評価
CO2等の温室効果ガス排出量を平成19年度までに、平成13年度比5%削減する	基準年度CO2排出量41,566tに対し17年度47,583tで、14.5%の増加でした	△	1	本庁舎におけるCO2等の温室効果ガス排出量を平成19年度までに、平成13年度比2%削減する	基準年度CO2排出量1,733tに対し17年度1,672tで、3.5%の削減となった。	○
			2	環境保全課におけるCO2等の温室効果ガス排出量を平成19年度までに、平成13年度比20%削減する	基準年度CO2排出量77tに対し17年度59tで、22.9%の削減となった。	○
			3	市組織及び一般家庭等からのごみを、清掃部門で焼却したときに排出されるCO2等の温室効果ガス排出量を平成19年度までに、平成13年度比3%削減する	基準年度CO2排出量32,562tに対し17年度39,683tで、21.9%の増加となった。	△
			4	清掃部門におけるCO2等の温室効果ガス排出量(ごみ焼却分を除く。)を平成19年度までに、平成13年度比10%削減する	基準年度CO2排出量803tに対し17年度412tで、48.6%の削減となった。	○
			5	下水道部門におけるCO2等の温室効果ガス排出量を平成19年度までに、平成13年度比18%削減する	基準年度CO2排出量4,243tに対し17年度3,723tで、12.3%の削減となった。	○
			6	水道部門におけるCO2等の温室効果ガス排出量を平成19年度までに、平成13年度比5%削減する	基準年度CO2排出量2,149tに対し17年度2,034tで、5.3%の削減となった。	○
グリーン購入を推進する	グリーン購入を推進した	◎	7	「苫小牧市グリーン購入推進方針」に基づき、グリーン購入を推進する	全組織のグリーン購入は紙類96.7%、具類類97.4%、OA機器100%、自動車100%、作業服100%であった。	◎
公共工事における環境配慮を推進する	公共工事における環境配慮を推進した	◎	8	「苫小牧市公共工事環境配慮指針」に基づき、公共工事における環境配慮を推進する	13活動推進組織において35分類について環境配慮を実施した。	◎
古紙の分別回収によりリサイクルを推進する	古紙の分別回収によりリサイクルを推進した	◎	9	上質古紙を分別回収して、リサイクルする	全組織で分別回収を実施し、本庁舎では32050kgを回収した。	◎
ごみ焼却に伴う有害物質の放出を抑制し、汚染の予防に努める	ごみ焼却に伴う有害物質の放出を抑制し、汚染の予防に努めた	◎	10	法規制より厳しい自主管理基準を設け、遵守する	沼ノ端クリーンセンター、糸井清掃センターにおいて自主基準をクリアした。	◎
下水汚泥の有効利用を推進する	緑農地還元、コンポスト化を実施した	◎	11	下水汚泥の緑農地還元を実施する	西町下水処理センターにおいて、10109tの緑農地還元を実施した。	◎
			12	下水汚泥のコンポスト化を実施する	勇払下水処理センターにおいて、520.6tのコンポスト化を実施した。	◎

※【原本】の流れ・・・ISO事務局(作成)→環境管理責任者(承認)→ISO事務局「記録ファイル」

